

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「スポーツにおけるトランスジェンダー女性の競技参加」

◇ 《設問1》(模擬講義の要点整理)の解答例 ◇

- ①生物学的な性と性自認が一致しないトランスジェンダーの人々に対する配慮や支援が進むなかで、スポーツにおいてはトランス女性が困難に直面することがある。トランス女性が女子種目に参加するためには、一定期間、血中テストステロン量を抑制しなければならないルールがある。しかし、彼女らがルールに則って競技に参加するにもかかわらず、安全性や公平性をめぐる批判、また誹謗中傷が彼女ら個人に向けられることがある。(196字)
- ②生物学的な性と性自認が一致しないトランス女性がスポーツの女子種目に参加するためには、一定期間、血中テストステロン量を抑制しなければならないという IOC のルールがある。しかし、ハンナ・マウンシーやローレル・ハバードは、ルールに則って競技に参加するにもかかわらず、批判や誹謗中傷を受けた。このような状況から、現在 IOC は、新たなルールを検討中であり、年内にも新ルールが制定される見込みである。(194字)

※キーワード

性自認、トランスジェンダー／トランス女性、テストステロン、ルール、
批判／誹謗・中傷

◇ 《設問2》の論題と評価の視点 ◇

〔論題〕

講義5で紹介した裁判について、あなたは A (原告)・B (被告) のどちらの主張に賛成しますか? 講義の1～4で説明した内容も参考にしながら、両方の主張を比較したうえで、あなたの考えを600字以内にまとめなさい。

〔評価の視点〕

- ・A・B両方の主張に言及している場合は、得点率45～55%を基準とします。
- ・A・Bどちらか一方の主張にしか言及していない場合は、得点率20%を基準とします。
- ・解答における根拠の数(例えば、公平性、スポーツから排除されない権利、女性の権利、性自認の尊重など)および、それらの説得性に応じて加点または減点します。
- ・結論(A・Bどちらの主張に賛成するか)が明確に示されていない場合は減点します。ただし、A・B両方に言及し、論理的に考えた結果どちらにも賛成することができなかった場合には減点しません。
- ・差別的な表現を用いた場合は、必要に応じて減点する場合があります。